

WONDER SEA

ワンダーシー
瀬戸内海の魅力



ナウマンゾウ
がやってくる!

ちりめんモンスター
がやってくる!

平成24年

7/13 FRI 7/29 SUN 10:00～17:00
(会期中休館日無し)

三原 リージョンプラザ 展示ホール

〒723-0015 三原市円一町二丁目1番1号 TEL: 0848-64-7555 FAX: 0848-64-7569

入場
無料

WONDER SEA

ワンダーシー
瀬戸内海の魅力

世界有数の内海である瀬戸内海は、私たちの生活に最も身近な「里海」です。人々は古くから、この海を舞台として様々な関わりを持って生活を展開してきました。広島大学はこれまで、自然・人文にまたがる多くの分野の研究を行ってきました。本企画展では、これらの成果をまとめ、知られざる瀬戸内海像を紹介します。特に、瀬戸内海の海底から引き上げられたナウマンゾウ化石や県北庄原市から発掘された古瀬戸内海時代のクジラ化石は圧巻で、今では想像もできない太古の瀬戸内海に思いをはせることができます。この機会にぜひご来場いただき、瀬戸内海の豊かさ、その現状と課題、さらにはその魅力を再確認していただければ幸いです。



イベント

7/21 SAT 公開講演会
14:00～16:40

すべて
入場無料
どなた
でも

「近世瀬戸内の暮らしと自然」



佐竹 昭 (広島大学総合科学研究科教授)
瀬戸内地域は、古来穏やかな自然と海上交通の便に恵まれ、とくに江戸時代後半には沿岸の村々や島々で人口が急増しています。地域の林野の姿や生息する野生動物にも目を配りながら、かつての暮らしぶりや自然との関わりについて考えてみたいと思っています。

「山河森海の幸、瀬戸内ワンダーシー」



長沼 毅 (広島大学生物圏科学研究科准教授)
瀬戸内海の漁業生産を支える山と森の役割、森山の人々の営み(特にたたら製鉄)が活性化する海洋生物生産、三原の能地に伝わる「浮き鯛」伝説と湧昇流、「浮き鯛」が浮く理由と「深海魚」の浮袋のヒミツ、湧昇流が人類を救うといったトピックをお話します。

やってみよう!!
さわってみよう!!

- ちりめんモンスター
- 塩のなめ比べ
- 触れる化石 (大型カキ化石やナウマンゾウ化石など)

展示構成

- 1 クジラが泳いでいた海 古瀬戸内海の世界
- 2 豊かな里海 世界の中の瀬戸内海
- 3 海と山のかかわり 沼田川が育む豊かな世界
- 4 人々の暮らし 歴史と文化
- 5 これからの瀬戸内海 豊かな自然を取り戻し、子どもたちに残す

展示の目玉

- ナウマンゾウの全身骨格
- ショウバラクジラ化石(全長7m)
- 備北層群の化石
- 瀬戸内海の天然記念物関係標本 (アビ・カフトガニ・スナメリ・ナメクジウオ)
- 旧三原女子師範学校郷土資料研究室 海産動物標本 (広島大学教育学研究科所蔵:初公開)
- 稲葉貝類コレクション(広島大学教育学研究科所蔵)
- オオサンショウウオ標本(特別天然記念物)



ACCESS JR三原駅より 徒歩10分(市役所南)

山陽自動車道 三原久井ICより 車で20分

※駐車場の混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。